



大阪府連通信
2019年4月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

第6回百科検定全国28会場 大阪会場31名が受験 初級から特級まで難問と向き合う

3月21日午後、第6回中国百科 国百科検定試験への強い支持がう 検定試験が実施されました。全国 かがわかります。懇談会では気軽に 意見交換できる勉強会や 中国映画の上映会の希望 がありました。 新しい顔ぶれの参加者 で受験層が広がり、懇談 会でも新鮮な交流がで きました。 第7回試験は12月8日、 第8回は来年3月20日行 なわれます。事前の受験 勉強をして多数の受験を お願いします。



受験者は10代から80 代まで各世代が揃い、 女性は1/3と増加傾 向です。受験目的は 「中国を深く知る」57 %、興味ある分野は「歴史」29% 「文化・芸術・風俗・習慣」22% 「全体」および「政経」18%と同 比率「地理」11%の順になってい ます。

難易度については「大変難しい」 「難しい」(計58%)が「ふつう」 「やさしい」(計42%)を上回っ ています。 しかし、受験の過程で全員が 「理解が深まった」と回答、次回 の受験は84%が前向き姿勢で、中

中国帰国者が次世代へ語りつぐ会

3月23日近畿中国帰国者支援・ 交流センターで、「中国帰国者」 について知る・聞く、そして次 世代へ語り継ぐ集いが100名 の参加で行われました。 「中国帰国者との出会いを通い して」と題して、元読売新聞 大阪社会部記者の大谷昭宏さ んが講演されました。 中国帰国者の作文は、1世



の青木美沙子さ んが「私たちが 歩んできた道」 1世の田中思恩 さん「中国の思 い」2世林彦 昆さん「父との 思い出」1世の 大槻麗子さん「帰国してすぐ の体験」を発表されました。 パネルディスカッション「中 国帰国者の現状と課題につい て」氏原庸子教務主任の司会 で、2世下岡純子さん、丹野 良雄さん、長山瑛子さんが 「介護施設をもっと設置を、 日本語ができないので1世は 孤立している、2世は介護サー ビスをよく調べることも、もっ と外出することが良い」など それぞれ帰国以後の経験や感 想を話されました。

女性部 本場の中国茶を堪能

3月10日府連教室で女性部主 催「中国茶を楽しむ会」が18名 の参加で行われました。張小 清講師の分かりやすいお話と実 演で、本場の中国茶をいただき ました。浅田さんから福建省出 身で、府連中国語講師を10年さ れていたと張さんを紹介され ました。 中国茶は発酵度により6つに 分類されます。浅い「緑茶」、 中度「青茶」(ウーロン茶)岩 茶、鉄観音、高い「紅茶」。そ も良いそうです。中国のめずら しいお菓子を食べ、おしゃべり をしながらゆつ たりとしたひと ときを過ごしま した。次回はず ひ皆さんも御参 加ください。(山本範枝)



中国茶器

府連第2回理事会

5月12日(日)13:30
国労会館 第2小会議室

第65回大阪府連大会

6月23日(日)13:30~
国労会館3階

日中友好協会68大会

6月1~2日 東京都内

笠原十九司 南京事件講演会

日本は中国で何をしたか 仮題
8月25日(日)13:30~
エル・おおさか南館5階

全大阪花のきりえ展

6月4日(火)
~9日(日)
9時半~17時
長居植物園花と
緑と自然の情報
センター 2階



「二〇一三年で大きく変化した暮らし」 中国最新報告① 福建省廈門と福州を訪ねて

はじめに

2009年〜12年にかけて中国福建省龍岩市内で暮らしていた。中国の高度成長の凄まじさを実感した日々だった。当時の様子をスケッチして長期連載します。



『道路を走る車を見ると良い。最新の「TOYOTAクラウン」「ベンツ」が駐車している。車だけではない。かと思えば、耕耘機にリヤカーをバイク、3輪などあらゆる乗り物つけたものやバイクにリヤカーをつけたもの、自転車が荷台をつけたのが走っている。年代物のトラック。古びたオート三輪。車やバイクは決して止まってく

農村村に行くくと牛や水牛が動力源になっている。自転車の後ろにリヤカーをつけて、鶏とアヒルを数匹乗せて売りに来ている女性。上半身裸の男性。一方、おしゃれをして日傘を差している女性。道を歩く人は、殆ど皆携帯電話を持っている。KF C(ケンタッキイ・フライド・チキン)の店。マクドの店。おしゃれな洋品店。高級なショッピング店。ドンドン建築されている高層マンション。皆懸命に働き生きている。生活を少しでもよくしたい!お金を稼ごきたい!電気製品が欲しい!車が欲しい!生活が良くなる事を信じ

て働く。「高度経済成長」私たちが経験した世界である。街はゴミだらけ埃だらけである。みな経済優先で平気でゴミを捨てる。つばを平気で吐く。これも各時代同居のひとつ。歩道には、至る所に車

釈尊の教えや9条春開ける 宣光寺に学ぶ

堺支部 泉州プロジェクトは、2月の行事を行いました。正しい言葉は人の心に届き、平和や幸福を願う心と響きあう。宣光寺(阿倍野区)の小倉住職がビラに書いた僅か数行の言葉は堺泉州プロジェクトメンバーの心をつよく震わせた。計画から半年、秋の相次ぐ台風で順延になつていた宣光寺訪問が叶ったのは2月21日、早春の夕暮れのことである。



小倉住職はお話しをこう切り出した。「宗には、ええ宗教とげたい、と思ひました。合掌。わるい宗教があるんですわ」。

(堺支部・藤田大輔)

そこから人類史の中で宗教がどうして生れ、良い宗教と悪い宗教に分かれていったのか。また、日本では天皇制と国家神道が仏教を含む宗教を支配していたこと。

あるいは、戦後、戦争に加担した宗教家や団体が反省し反戦平和の運動をすすめてきたこと。熱のこもつた住職のお話に引き込まれ

3月9日、初段から3級まで4クラスの試験を東三国会場で行いました。クラスが上がるほど合格ラインも引き上げられますが、受験者は上手に表演され、9名の内7名が合格されました。初めて一人表演する受験で「上がつてしまつてちゃんとできたかどうか分からない」「本心に臓がどきどきでした」「受けようと思つてからは、今まで気づかなかつた事が多く発見でき、結果よりそれが大きな成果です」などの感想がありました。合格・保留の方もこれを機会に、自分の太極拳を再度見直し、技術やメンタル面の一層の向上を期待しています。

恒岡正勝

「中国製造2025」ってなに?②

グローバル化した世界経済ではひとつの製品の生産にも各国の資本が関わっており、その付加価値の大小に応じてその利益も各資本のものとなることを①で述べました。言い換えますと、アメリカに輸出された中国製品の利益は中国だけでなく各国の資本の利益として配分されているのです。つまり統計上、アメリカの貿易赤字は対中国貿易によるように見えますが、実態は多国が絡んでいるのです。これはトランプも百も承知のことです。

基本方針	
イノベーション駆動	
品質優先	環境保全型発展
産業構造の最適化	
人材本位	
具体的重点目標	
次世代情報技術、高度デジタル制御の工作機械・ロボット	
航空・宇宙設備、海洋エンジニアリング・ハイテク船舶	
先端の鉄道施設、省エネ・新エネルギー自動車、電力設備	
農業用器材、新素材、バイオ医療・高性能医療機器	

の図を掲げておきましょう。ところで、叩かれるばかりのファーウェイ(華為技術)もだまつてはいません。アメリカ政府が自社製品の使用を禁止しているのは、アメリカ合衆国憲法違反だとして、テキサス州の連邦地裁に提訴しました。この行方も注目されます。(府連副会長 山本恒人)